

令和4年度 国語科 「現代文B」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年E～G組（理系）
教科書	高等学校現代文B〔改訂版〕（三省堂）	副教材等	「新版六訂新訂国語便覧」（第一学習社） 「日本文学史必携」（第一学習社）

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
4	人物の心情の推移を的確に捉える。	【小説】「ひよこの眼」 (山田詠美)	一人称の語りを追跡して、語り手のまなざしがどのような方向性を持っているのか考える。	文章の細部を読み込み、語り手の特徴・登場人物の心理の変化を読み取ろうとしている。
5	自己と現代社会の関係について深く考える。	【評論】「身体〈の〉疎外」 (黒崎政男)	「身体〈の〉疎外」という言葉の内容を読み取り、全体構成を整理する。	私達の生きている時代の特徴と、そこでの生き方について考え「私」とは何か、という根源的な問いを持つようとしている。
6				
7	人間の世界の認識の仕方について考えを深める。	【評論】「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	猫は後悔せず、人間はなぜ後悔するのか、筆者の考えを読み取り、話し合う。	人間が後悔する理由について「分節化された言語」という表現に着目して考えようとしている。
8	文語体で書かれた小説を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉える。	【小説】「舞姫」 (森鷗外)	場面ごとの登場人物の心境の違いや変化をまとめる。	鷗外の文体・描写を読み味わい、登場人物の心理の変化を正確にまとめて、主題を読み取っている。
9				

月	単元名	学習項目		評価の材料
10	時代背景を踏まえ、人の生き方について考えを深める。	【小説】「舞姫」 (森鷗外)	明治時代という時代背景を踏まえて、作品への理解を深める。	人間にとって普遍的な命題について考えを深めている。
11	歴史とメディアとの関連性について関心を持ち、現代社会の問題について考えを深める。	【評論】「擬似群衆の時代」 (港千尋)	筆者の現代社会に対する分析と問題意識がどこにあるか把握する。	筆者の言う「擬似群衆」「待つ群衆」を的確に捉え、現代社会の問題をどのように解決できるか話し合おうとしている。
12	近代日本と現代の日本を比較し、西洋文化がどのような影響を及ぼしたのか考えを深める。	【評論】「現代日本の開化」 (夏目漱石)	漱石の主張する「開化」とはどのようなものかまとめる。	漱石の述べる「開化」とはどのようなことかを正確に読み取ろうとしている。
1				
2	文化の違いの捉え方について読み、考えを深める。	【評論】「累積的社会・停滞的社会」 (C・ヴィー＝ストロース／川田順造・渡辺公三)	近代の「進化論的な考え方」を理解し、「累積的」と「停滞的」の対比がなぜ生まれるのかを理解し、筆者の主張を捉える。	他文化へのまなざしの持ち方、すべての「他者」へのまなざしの持ち方について、考えを深めることができる。
3				

3 評価の観点

関心、意欲、態度	近現代の文章を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、言語文化についての理解や感心を深めようとしている。
話す、聞く能力	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現の仕方によって、自分の考えを文章にまとめ、深めている。
読む能力	文章の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
知識、理解	文章の構造や文章に用いられている語句の意味、用法を理解している。

4 評価の方法

「関心、意欲、態度」、「話す、聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識、理解」の5観点から評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢、アウトプットの仕方などを鑑み、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

「現代文」は、自己や他者について深く考えたり、自分自身で人生を切り開き生きていくために、自ら文章を読解し、考え、表現する能力を養う科目です。したがって、授業には積極的な態度で臨み、「知識」だけではなく「思考力」を身に付ける気持ちで取り組んでください。